

市議会だより なかつかわ

編集発行：中津川市議会

住所：岐阜県中津川市かやの木町2番1号

電話：0573-66-1111

<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp>

平成26年 中津川市議会 12月定例会



中津川市成人式



中津川市消防出初式



十日市

-----目 次-----

市民と議会の対話集会	②
主な議案	③
予算決算委員会報告	⑤
常任委員会報告	⑥
特別委員会報告	⑦
先進都市行政視察報告	⑧
一般質問	⑪
修正案	⑯

■ トピックス

・議 案

中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正
中津川市健康づくり推進条例の制定など

・補正予算・・・4億200万円を可決

健康温泉館管理運営設事業
被災農業者向け経営対育成支援事業
急傾斜地崩壊防止事業など

市民と議会の対話集会を開催しました

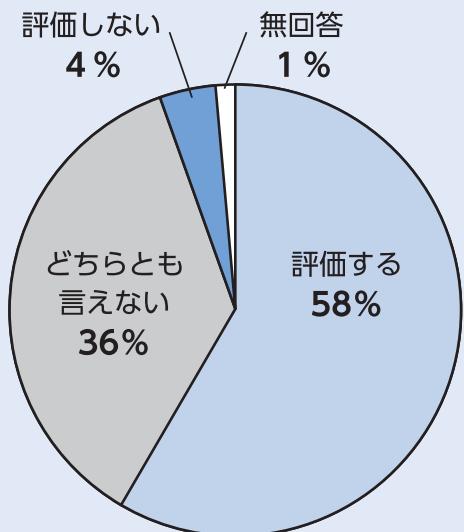
平成26年11月に、市内9会場で「市民と議会の対話集会」を実施しました。忙しい中、ご参加頂きありがとうございました。

市民の皆様から、多くの質問・意見・要望をいただき感謝申し上げます。

質疑やその回答などを、市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

開催日	会場	参加者			アンケート
		男	女	合計	
11月11日(火)	坂本公民館	15	1	16	16
	坂下公民館	7	0	7	7
	加子母公民館	31	6	37	35
11月12日(水)	苗木公民館	9	0	9	8
	落合公民館	8	0	8	8
	蛭川公民館	21	0	21	14
11月13日(木)	中津川文化会館	12	1	13	11
	阿木公民館	40	9	49	43
	福岡公民館	16	2	18	17
合計		159	19	178	159

【対話集会の取り組みについて】



阿木会場（13日）

【対話集会アンケートの意見】

説明

文書配布か映像／用語が解らない

集会形式

気軽に話せる雰囲気／車座

参加者

開催日の検討　土日開催

開催通知を早く、告知方法を検討

内容

テーマが広すぎる／質問意見要望の通告制

各議員の意見を気軽に聞きたい

議会報での説明は評価する

報告が短く対話時間が充分あった

議会報の発行を評価する

議員

政策立案を進めてほしい

議員間の意見交換が弱いように感じた
議会が地域をリードしてほしい



12月定例会は、初日に専決処分など3議案を原案どおり可決し、一般会計補正予算など31議案を所管の委員会に付託しました。

24日の最終日は、付託した31議案のうち1議案に修正を加え、原案どおり可決しました。

人権擁護委員候補者の推薦

(全会一致)

人権擁護委員の吉村俊彦さんの任期が平成27年3月31日に満了となりますので、引き続き推薦するものです。



吉村俊彦さん

地域包括支援センターが包括支援事業を実施するために必要な基準を定める条例の制定

(全会一致)

介護保険法の一部改正に伴い、地域包括支援センターの職員に係る基準、職員数、基本方針等を定めるものです。

中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正

(全会一致)

給料を平均0・3%、期末・勤勉手当を0・15月分引上げ改正するものです。

中津川市国民健康保険条例の一部改正

(全会一致)

出産育児一時金の支払い額等を改正するものです。



中津川市墓地の設置等に関する条例の一部改正

(全会一致)

無縁墓碑等の改葬について、法律等に定めのない無縁墓碑等の移転及び墓地使用権消滅等の規定を整備するため改正するものです。

中津川市保育の必要性の認定に関する条例の制定

(全会一致)

子ども・子育て支援法に伴い、保育の必要性の認定に関し必要な事項を定めるものです。

中津川市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

(全会一致)

介護保険法の一部改正に伴い、指定介護予防支援事業等の職員に係る基準、職員数、基本方針等を定めるものです。

中津川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例の制定

(全会一致)

子ども・子育て支援法に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の負担額を定めるものです。



中津川市下水道条例等の一部改正

(全会一致)

下水道等の排水設備指定工事店の指定及び排水設備等の工事完了検査の手数料を、新たに徴収するため改正するものです。

市道路線の認定

(全会一致)

認定路線……坂下112号線

市道路線の変更

(全会一致)

山口地域の大前→大久保線・山口21号線・山口29号線・山口34号線・山口77号線・山口108号線の起点と終点を変更するものです。

中津川市健康づくり推進条例の修正部分を除く条例の制定

(全会一致)

ができる社会を築くために宣言する。
(宣言の概要)

市民の自主的な健康づくりとそれを支えるための仕組みを確立するため制定するものです。

(目的)

すべての市民が健康で長生きするために、日ごろの食生活や運動などの生活習慣が心身に及ぼす影響を市民一人ひとりが理解し、生活習慣の改善や健康保持にすすんで取り組む。

(基本理念)

市民自らが健康に関心を持ち、主体的に取り組む。

中津川市健康づくり推進条例 修正案

(賛成多数)

第4条中の「禁煙」を「節度ある喫煙」に修正する。

健康都市なかつがわ宣言

(全会一致)

(目的)
すべての市民が生涯にわたり健やかでいきいきと心豊かにくらすこと

※ 指定管理施設及び指定先は、
下表のとおりです。

市内8施設の利用者の利便性向上及び施設の活性化を図るため、管理を指定管理者に行わせることができます。

指定期間

平成27年4月1日～

指定管理者の指定

(全会一致)



「自らの健康は自らがつくる」を本当に、すべての市民が健康で幸せに暮らせる中津川市をつくるために「健康都市なかつがわ」を宣言する。

指定管理施設及び指定先

施設名					指定先													
中津川市民プール					株式会社 コパン													
苗木公園					三菱電機ライフサービス株式会社 中津川支店													
中津川市トレーニングセンター					三菱電機ライフサービス株式会社 中津川支店													
中津川公園					特定非営利活動法人 中津川市体育協会													
中津川市東美濃ふれあいセンター					特定非営利活動法人 中津川市体育協会													
中津川文化会館					一般社団法人 中津川市文化協会													
中津川駅前市営駐車場					恵北ビル管理株式会社													
中津川駅前広場市営駐車場					恵北ビル管理株式会社													

賛否の分かれた議案の議決結果

会派 氏名 議案	新政会					緑政会					地域				市民ク			ネット		公明		無		議決結果	
	橋 公夫	松浦 高春	鈴木 雅彦	深谷 勲	粥川 茂和	三浦 八郎	伊佐治 由行	鷹見 憲二	吉村 俊廣	深谷 明宏	大堀 寿延	勝 彰	柘植 達樹	岡崎 隆彦	吉村 浩平	吉村 久資	櫛松 直子	牛田 敬一	佐藤 光司	片桐 清貴	鈴木 田口	原 文数	吉村 卓己	昌男	
中津川市 健康づくり推進 条例修正案	○	×	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決

※ 地域:地域を考える会、市民ク:市民クラブ、ネット:市民ネット21、公明:市議会公明党、無:無会派

予算決算委員会報告

(11月28日・12月17日)

平成26年度 12月補正予算の概要

下記の3つの編成方針により、補正予算が計上されました。

- ① 県補助金獲得に伴う事業
- ② 寄附金を財源とする事業
- ③ 緊急対応が必要な事業

■補正を行う会計

●一般会計	275,543千円
●特別会計	
・国民健康保険事業会計	66,288千円
・下水道事業会計	△3,628千円
・簡易水道事業会計	3,219千円
・農業集落排水事業会計	1,427千円
・特定環境保全公共下水道事業会計	△3,032千円
・介護保険事業会計	7,867千円
●企業会計	
・水道事業会計	4,078千円
・病院事業会計	50,245千円
合 計	402,007千円

① 県補助金獲得に伴う事業

- ・急傾斜地崩壊防止事業※1

③ 緊急対応が必要な事業

- ・道路橋りょう災害復旧事業
- ・広域交通網整備推進事業
- ・災害弔慰金事業
- ・医師確保奨学金事業
- ・被災農業者向け経営体育成支援事業※2
- ・農地中間管理事業
- ・元気な農業産地構造改革支援事業
- ・特産品振興事業
- ・健康温泉館管理運営事業
- ・県営事業負担金
- ・介護保険システム改修事業
【介護保険事業会計】
- ・当初予算編成後の異動及び人事院勧告による人件費の補正（全会計分）



※1 急傾斜地崩壊防止事業



※2 被災農業者向け経営体育成支援事業

常任委員会報告

◆総務企画委員会 10月23日

【所管事務調査】
(総務部)

◆文教民生委員会 10月31日

【所管事務調査】
(教育委員会)

◆産業建設委員会 10月30日

【所管事務調査】
(農林部)

○行政組織と職員の人材育成について

職員数を抑制し人件費を減らしていくなかで、組織と人材育成について調査しました。

現状の取り組み

- ①行政組織は、災害発生時と地域要望等の対応を強化するため、坂下・福岡の拠点総合事務所の基盤整備課を本庁基盤整備部の出先事務所とし、指揮系統の明確化を図っている。
- ②リニアを見据えた企業誘致を推進するため工業振興課に企業誘致係を設置している。
- ③人材育成は、経験を活かせる人事を行うため行政職と消防職の人事交流による育成を図っている。

委員会のまとめ

組織と人材は、行政にとって重要な役割を果たすため環境変化に素早く対応できる組織を構築していただきたい。

○子育て支援の状況と課題について

次世代を担う子ども達への支援であり、市民生活に直結した問題であるため調査をしました。

子育て支援事業の状況と課題

- ①幼稚園・保育所は、市内で34園あるが、未満児保育に対応する保育士不足、施設の老朽化、待機児童の発生等が課題である。
- ②放課後児童クラブが市内で17ヶ所運営されているが、指導員の確保、未設置校区の問題、運営している父母会への支援が課題である。
- ③子育て親子の交流の場である子育て支援センターでは未設置地域での開設や利用者支援が課題である。

委員会のまとめ

子育て支援事業は、少子化対策及び次世代につなげる大切な事業であり、今後も積極的に取り組んでいただきたい。

○農業行政の現状課題と取り組みについて

衰退する農業の現状と課題について調査しました。

農業行政の現状と課題

- ①農地は、農業者による協働活動、各種事業等が実践され保全されていますが、従事者の高齢化等課題も多く耕作放棄地が増えている。
- ②農業の担い手対策について、農地中間管理事業を活用し、農地の集約化と農業経営の効率化に取り組んでいる。
- ③鳥獣による被害は、年々増加しており、鳥獣害防止総合対策協議会を設立し、国などの事業を活用して対応している。

委員会のまとめ

既存の各制度を活用し、環境保全も視野に入れた農業行政指導に取り組んでいただきたい。



特別委員会報告

◆リニア中央新幹線対策特別委員会

11月17日

○リニア中央新幹線等の最近の動き

中津川市にとつて重要な事業であり、進捗状況を確認しました。

最近の動き

①JR東海は、中津川市全体を対象に事業説明会を11月7日に開催し、その後市内沿線各地区で9回の説明会を開催しました。

②建設発生土については、市内22ヶ所の候補地をJR東海で検討されています。

③濃飛横断道路については、県の都市計画審議会で継続審査中です。

④下呂市・郡上市・中津川市の市議会特別委員会合同会議で、リニア中央新幹線・濃飛横断道路について情報交流や意見交換を行いました。

委員会のまとめ

今後も進捗状況を注視していきます。



◆議会改革特別委員会

10月8・9日
【先進都市行政観察】

◆新衛生センター及び汚泥処理対策特別委員会

10月14日

○議会改革の現状と今後の課題について

(三重県伊賀市・伊勢市)

○新衛生センター及び汚泥乾燥施設の建設について

議会改革を更に進めるため、先進的に行っている自治体を観察しました。

主な取り組み

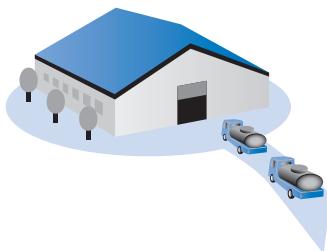
- ①委員会・協議会の公開
- ②政策討論会
- ③反問権

- ④主な事業の進捗と予算執行の状況調査
- ⑤音声認識システム

委員会のまとめ

- 今後の中津川市の財政状況を考えた時に、当初の計画を見直し、今後の人口動態や水洗化への移行などを研究し、「施設の建設費やランニングコストの削減を図り事業を進めるよう」提言します。
- 全ての委員会・協議会を公開するなど、開かれた議会をめざし、取り組み可能な充実させていきます。

委員会のまとめ



総務企画委員会先進都市行政視察報

◆岡山県笠岡市

「定住促進センター」について

10月28日

【定住促進センター設置の
経緯と取り組み】

笠岡市では、人口減少を食い止めるために定住促進センターを立ち上げている。業務内容は、定住促進センターが直接実施するだけでなく、情報の集約や各部署で取り組んでいる事務事業を各部署と連携し相乗的な効果を生み出す役割を担っている。

【定住促進センターの実施事業】

- ①住宅新築助成金交付事業
- ②住宅促進に係る固定資産相当額一部助成金交付事業
- ③三世代同居等支援事業
- ④新婚世帯家賃助成事業

【委員会まとめ】

市の定住促進事業に対する目標を数値化（見える化）している。当市においてもメリハリの利いた施策と具体的な目標設定が必要ではないかと考えます。

◆岡山県倉敷市

「行政改革プラン2011」について

10月29日

【行政改革プラン2011の概要】

倉敷市では、市民生活の安定と向上を図るために行政改革プラン2011を策定している。行政改革は、経費削減・今までの体制や活動を見直し行政サービスを提供することを目的としている。

【取り組み内容】

- ①業務改革
- 市民協働の推進、市民意見の反映
- ②財政構造改革
- 公共施設管理の推進、財源の拡充
- ③職員及び市役所改革
- 職員の意欲的な取り組みを促す人事制度、定員及び給与の適正化等

【委員会まとめ】

実施項目には、いつまでに、何をするとい
う状況を記載し見える化している。当市も環境
変化に対応するため行政自ら変化する心構え、
危機感をもつて取り組んでいただきたい。

◆滋賀県草津市

「市民と行政職員のための
協働契約ハンドブック」について

10月30日

【ハンドブック作成の経緯】

住みよいまちづくりには、市民と市による「協働のまちづくり」が重要とのことで作成された。

【ハンドブックの概要】

市民公益活動団体と市が共通の理解のもとで協働事業を推進できるよう計画から事業実施にかかるまでの具体的なルール・仕組みをまとめている。

【市職員の短期NPO派遣研修】

NPO法人と草津市まちづくり協働課が相互理解を深めるために市職員を短期（5日間）派遣する研修。座学・講演会を中心の研修から実践形式で研修している。

【委員会まとめ】

市民との協働という関係を当市に例えれば
市民協働課だけではなく、あらゆる課が各事業
に関連するNPO等と協働していく仕組みを
検討していただきたい。

文教民生委員会先進都市行政視察報

◆岡山県総社市

「子育て王国まちづくり事業」について

11月5日

◆広島県尾道市

「認定こども園」について

11月6日

◆奈良県生駒市

「高齢者サロンひまわりの集い」について

11月7日

【子育て王国まちづくり事業】

- ①小児医療費無料化（小学校6年生まで）
- ②こんにちは赤ちゃん事業（家庭訪問）
- ③つどいの広場（就園前の親子の交流）
- ④子ども条例の制定（子どもの意見、提言）
- ⑤病児保育室の開設（小児科医院に開設）
- ⑥不妊・不育治療費助成
- ⑦子育て基金の創設
- ⑧放課後児童クラブ
- ⑨赤ちゃんの駅登録事業（おむつのできる施設登録）
- ⑩子育て王国まちづくり委員会事業などの事業を行い、子育て環境の整備と子育ての取り組みをアピールすることで他市等からの移住者がある。

【委員会まとめ】

地域全体での子育て環境の整備が重要である。また、惹きつけるネーミングなど取り組み姿勢のアピールが大切である。子育ては、移住・定住の大きな魅力であり、全市体制で取り組んでいただきたい。



【認定こども園設立の経緯】

平成10年に認定こども園制度が法制化され、保育所機能と幼稚園機能を併せ持った施設の必要性と施設の老朽化や耐震基準の問題から、平成19年以降保育園と幼稚園を統合、市立3園と法人1園の認定こども園が設立された。

【認定こども園の保育・教育の効果】

- ①保育・教育内容の充実。
- ②子育てニーズに応えられる地域の子育て家庭すべての支援ができている。
- ③小学校への就学アプローチカリキュラムにより、幼保小連携ができている。
- ④地域文化や特産品など郷土への愛着を育てることができている。

【委員会まとめ】

働く女性も多くなり、幼稚園など延長保育の要望への対応等、認定こども園について研究を行い、子育て・教育・生活に十分に対応した施策に取り組んでいただきたい。

【生駒市の状況】

高齢化率23・9%、介護認定率は15・9%であり、介護予防事業の充実が必須であり、自立支援策として集中介入期・移行期・生活期に分けた教室を行い、介護予防につなげた自立支援事業を行っている。

【自立支援の流れ】

- ①集中介入期・・・パワーアップ教室を行う
- ②移行期・・・転倒予防教室を行う
- ③生活期・・・ひまわりの集いで憩いの場の創出を図る

【ひまわりの集い】

年70回程度行い、手作り料理の会食を行っている。効果として、男性参加者が料理を始める仲間作りができた・趣味の再開など意欲の向上が見られたなどでした。

【委員会まとめ】

地域全体で介護予防に取り組まれ、良い結果が得られており、当市においても2025年問題に対応できるよう積極的に介護予防事業に取り組んでいただきたい。

産業建設委員会先進都市行政観察

【視察目的】

新たな新幹線駅を活用した各駅周辺整備計画・土地区画整理事業の手法と現状を視察し、リニア岐阜県駅ができ、新しい時代を向かえる中津川市の取り組みに活かしていく。

◆北海道函館市

「新幹線で未来を創るまちづくり構想」「はこだて活性化アクションプラン」について

10月15日

【函館市の取り組み】

- ①北海道新幹線が、平成28年3月に開業されることから、主要施策を観光振興・まちの賑わい創出・企業の育成、誘致・交通網の充実と課題を定め、各検討会議で連携し進めている。
- ②新幹線駅から函館駅へのアクセス鉄道を新幹線の停車時間に合わせて、快速3両編成で運行予定されている。
- ③函館市のPR主体は、食と観光で観光資源も多く有り、磨きあげることで民間が頑張っている。

◆北海道北斗市

「新幹線新駅周辺整備計画」
「土地区画整理事業」

「函館総合車両基地」について

10月16日

【北斗市の取り組み】

- ①駅周辺整備は、新幹線とJR函館本線の下を立体交差で自動車通行を確保し、駅には自由通路で南北の通行が確保される計画になっている。
- ②土地区画整理事業は、土地開発基金による、先行買収で遊休農地等を確保した。住宅施設も敷地を広く確保し、完了していた。しかし新駅企業立地助成制度で補助金も準備していたが、企業・ホテル・飲食店等の誘致は進んでいない状況であった。

【取り組み分析】

- ①駅周辺整備では、市街地への連絡道路などの整備が進められ、駐車場も約千台分整備されている。
- ②土地区画整理事業は、総合病院の建設が決定され、関連効果を期待されている。
- ①駐車場の面積は、花巻や青森空港を参考に実績から算定されている。
- ②土地開発公社で遊休農地等を7万m²先行買収した結果、効果的な区画整理ができた。

【委員会まとめ】

- ①青森市の新駅活用事業を取り入れたい。
- ②駐車場は、機能に合せた面積の確保が必要。
- ③誘客には、様々な特色をPRすることが大切。
- ④駅前商業地は、適切な規模とする。
以上を良き事例として、当市も積極的に取り組んでいただきたい。

◆青森県青森市

「新青森駅周辺整備計画と現状」
「土地区画整理事業」について

10月17日

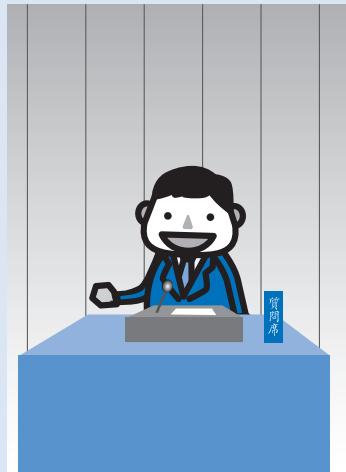
【青森市の取り組み】

- ①駅周辺整備では、市街地への連絡道路などの整備が進められ、駐車場も約千台分整備されている。

一般質問　ここが知りたい！

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は 14 人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録（3月初旬公開予定）」をご覧ください。



答

問

坂本小学校教室不足解消について



勝
彰

坂本小学校では、九年前から特別教室等を普通教室や特別支援学級として使う教室不足が続いています。坂本小学校の教室不足解消について、学校設置者の最高責任者である市長の見解、決意をお尋ねします。

坂本小学校を視察し、教室の転用や間仕切りをして使用している現状もしっかりと確認しました。

学習環境や、ゆとりスペースが整備されていないのが現状ですが、現在の場所では用地が確保されないのも現実です。

子どもたちのよりよい教育環境の充実を図るために、坂本小学校を増築また移転等を含めた中で、場所をしっかりと確保し、教室不足の解消を図つてまいります。

（市長）



答

問

健康都市なかがわ宣言について



牛田
敬一

市民が生涯にわたり健やかでいきいきと暮らすことができる社会を築くために宣言することに賛成です。市民にわかりやすい目標や取り組みを提示していただきたい。
①市民全体の健康状態を例えるなら、現在どのような症状と感じていますか。
②宣言を提案されました市長の意気込みを伺います。

①市民の健康状態を例えるなら、要注意・要指導の状況であると感じています。
糖尿病などの生活習慣病で医療機関を受診する割合が県下でも高くなっています。生活習慣を改善し予防していくことが重要です。

（健康福祉部長）

②生涯現役で人生を謳歌していただくには健康が欠かせないと考えます。

宣言を通して中津川で暮らすことの良さ、健康で暮らすことのありがたさをぜひとも市民のみなさんにわかつていただきたい。

（市長）

問

補助金・交付金の見直しなど市民負担増に 関し、事前に明らかにすることについて



片桐
光朗

答

市の財政計画は、都市計画税、スポーツ・文化施設使用料、ゴミ処理費、国保・下水道料金等の値上げ及び補助金・交付金の削減等を今後行うとしています。物価上昇や消費税率の上昇など市民の負担がさらに増えてきました。

財政計画の値上げや削減が妥当かどうか議会が判断できるよう、新年度予算で着手を考えていることを、事前に具体的に提示できな
いか。

(企画部長)

問

高齢社会の対策について



田口
文数

答

高齢社会白書では、65歳以上の高齢者のいる世帯は増え続け、一人暮らしの高齢者も男女ともに増加しております。

また高齢者は、老後の過ごし方への関心が高まり、社会参加への意欲が旺盛になっていきます。

①65歳以上のいる世帯は何世帯ですか。
 ②身寄りのない高齢者の介護や財産管理はどうなりますか。
 ③高齢者の再就職、派遣、NPOボランティア等の相談所を開設する考えはありますか。

使用料の見直し等は、条例や規則の改正を伴うものであり、ある程度その方向性が見えてきた段階でないとお示しできません。

また、補助金・交付金は、補助団体等の決算状況等を確認しながら、支出基準に照らし妥当性の観点で予算査定をしている段階です。

現時点では新年度予算について見直す項目・内訳・金額を具体的に示すことは困難です。

(健康福祉部長)

問

中津川市の健康づくり・人づくりに関する運動・スポーツ施策について



三浦
八郎

答

国の健康日本21（第2次）では、第1次の反省として、個人を主体とした健康づくりから社会・地域としての健康づくりに変わってきました。今議会に提案された中津川市健康づくり推進条例、健康都市なかつがわ宣言では「自ら」が主体となっています。市は、「社会・地域」を中心として健康づくりに組り組む考えはありますか。

健康日本21（第2次）でも、健康づくりは個人が主体的に取り組むものであるという考えは変わっていません。

健康づくりは市民一人ひとりが自ら進んで取り組むとともに、その取り組みを支援する環境を整備し、社会全体で支えていかなければなりません。

市民・健康づくりの関係者などそれぞれの役割を定め、連携して取り組んでいきます。

(健康福祉部長)

鷹見 憲三



にぎわいのある中心市街地のまちづくりについて

問

まちづくりは行政・経済団体・商店・市民などが一体となつて進めなければなりません。
①中心市街地活性化基本計画に基づく事業の検証について伺います。

②まちづくり会社の設立は、どのような組織を予定していますか。

答

①外部団体のサポート事業で検証を行いました。六斎市では、商店街や個店が集客をいかした新たな商品・メニューづくりや、まちなかステーションねこのて事業による子育て支援サービスでも魅力的なイベントを企画する必要があります。全体として活性化事業をマネジメントするまちづくり組織が必要であると考えます。

②リニア開通の2027年（平成39年）を目指して、中心市街地を核とする地域の活性化を図り、まちづくりに取り組む関係者を一つにする組織として考えています。

（商工観光部長）

原 昌男



「リニア」及び「濃飛横断道」による立ち退きなど、市民が迷惑をこうむったり、損をしないことなどについて

問

JR東海の用地取得は、中心線測量からはじまるが、地権者がこれを拒否したとき、JR東海側に法的な対抗策がありますか。

11月7日のJR東海の事業説明会で、「地権者へ繰り返し足を運び、誠心誠意お話をさせていただきて理解をいただきたい」という説明がされておりましたので、それに尽きると考えております。

（リニア都市政策部長）

答

JR東海の用地取得は、中心線測量からはじまるが、地権者がこれを拒否したとき、JR東海側に法的な対抗策がありますか。

11月7日のJR東海の事業説明会で、「地権者へ繰り返し足を運び、誠心誠意お話をさせていただきて理解をいただきたい」という説明がされておりましたので、それに尽きると考えております。

中津川駅周辺のまちづくりについて

問

リニア中央新幹線におけるリニア駅周辺と中津川駅周辺のまちづくりの取り組み状況に温度差が懸念されるところです。

①リニア駅とその周辺の整備方針と現在の中心市街地の位置付けをお伺いします。
②中心市街地を抱える中津川駅周辺のまちづくりについてお伺いします。

答

①リニア駅とその周辺は、「広域交通拠点」として交通結節点に特化したまちづくりを行います。

中心市街地は、今後も中津川市の顔として産業・経済の中的な役割を担う「都市拠点」として位置付け、互いに連携・機能分担を図ります。

②リニア駅とその周辺は、「広域交通拠点」として交通結節点に特化したまちづくりを行います。

中心市街地は、今後も中津川市の顔として産業・経済の中的な役割を担う「都市拠点」として位置付け、互いに連携・機能分担を図ります。

（リニア都市政策部長）

吉村 浩平



問

定住推進のための女性と若者の雇用施策について



櫛松 直子

答

市内では、出産・育児を機会に離職した女性の多くが再就職を望んでいます。

①女性の再就職にあたって、行政からの支援はありますか。

②就職後早期に離職する若者が多いと聞いています。若年層が定着してもらうための施策はありますか。

①無料職業相談や産業人材の雇用定着促進事業、子育てママ再就職支援セミナーなどの支援を行っています。

②高校・大学生が市内企業を知る機会として実施するバス見学への補助や市内高校への求人情報冊子の配布、地元就職サポートバンクによる大学生への地元求人情報の発信や就職支援セミナーなどに取組んでいます。

(商工観光部長)

問

「中津川市における戦後70年を迎えることの具体的行動について



佐藤 光司

答

戦前・戦中・戦後を体験された方々が亡くなられ、その体験を語り継ぐことや、当時のことを見学してもらうための施設を次世代に引継ぐことが大切だと思います。

①歴史認識として資料の保管が重要であり、徴兵制度の行政資料は、ありますか。

②資料などの展示会の開催時期や会場は、どのように考えていますか。

③次世代に引き継ぐ企画は、どのように考えていますか。

①徴兵制度に関する行政資料は、約700点以上保存されています。

②平成27年8月を予定し、貴重な資料を公開するため、会場は展示ケースがある苗木遠山史料館での開催を計画しています。

③戦後70周年を迎えるこの時期に、悲惨な戦争の歴史を風化させないため、当時の暮らしぶりの資料も交え、個人情報にも配慮しつつ公開してまいりたいと考えております。

(文化スポーツ部長)

問

合併の検証と今後の施策について



粥川 茂和

答

①合併に期待を寄せていた市民の中には、落胆の諸氏もいると思います。市は合併後の10年間を回顧し、市民に対しても合併の選択に誤りがなかったことを説明する必要がありま

せんか。

②合併の効果を具体的に発信する必要があると思いますが、いかがですか。

③合併の記録を残し、後世に伝えてゆく必要があると思いますが、いかがですか。

①誤りがなかつたことを説明するのではなく、何ができる、これから何をしなければならないかを説明することが必要と考えます。未来志向という考えにたち、来年度に行う合併検証の中でお示ししていきます。

②今までの実施状況をよりわかりやすく説明することは必要です。合併の効果という視点で、検証の中でも行つていきます。

③合併の記録や貴重な資料を残し、関係者の思いも残しておくことは大変意義があります。

(定住推進部長)

行財政改革による財政健全化について



伊佐治由行

問

行財政改革の取り組み状況をお伺いします。

- ①乳幼児医療費助成事業
- ②公立病院のすみ分け

③保育園の民営化・学校給食調理場の合理化

①乳幼児医療費助成事業は、中学生までを対象とし、子育て支援の観点から重要な事業と位置付けています。

(健康福祉部長)

②今回の診療報酬改訂で、病院のあり方そのものが根底から変わってきます。引き続き公立病院のあり方検討会で協議を進め、つきりとしたあり方を考えていきます。

(病院事業部長)

③今回の小鳩保育園民営化により人件費を含めて約2千万円の削減になる見込みです。学校給食調理場の合理化については、今年度中に学校給食調理場整備検討委員会を立ち上げ、検討してまいります。

(教育委員会事務局長)

中津川市財政計画について



松浦高春

問

平成27年度から始まる中津川市総合計画と財政計画は一体であり、市民は身の丈にあつた事業計画、財政計画を望んでいます。

今後、財源の増加が見込めない中、市民に対する受益者負担・都市計画税・固定資産税・新しい目的税等何らかの税負担が必要になる時が来ると思いますが、今後の財政計画について伺います。

答

歳入では、地方交付税は段階的に減少、市税は横ばいと見込んでいます。

歳出では、公債費及び施設の維持管理費の削減、職員定員計画の実行を図っていくものの、扶助費の増加が見込まれます。

また、市民サービスの持続的な提供、更是リニア開業を見据えた取組みが必要となります。

健全財政を軸に置き効果的かつ計画的に事業を推進するためには、身の丈に合った行財政運営と自主財源の確保が必要と考えます。

(企画部長)

新図書館建設中止に伴う社会的・行政的・政治的課題について



深谷明宏

問

- ①政治的課題について、市民の声として、ネット上に「恵那雑巾」の名前で図書館問題の掲載があります。このサイトを見ての見解をお聞かせ下さい。

②建設予定跡地の中に残されている基礎杭等の規模(数量)を教えて下さい。

③市街地活性化対策庁内検討委員会での協議の経過及び結果についてお聞かせ下さい。

答

①個人の意見であり、市としての見解は差し控えさせていただきます。

(文化スポーツ部長)

②跡地には、深さ6.0~7.4mのところに直径1.5mの円柱9本と直径1.2mの円柱35本の基礎杭があります。体積は約390m³となります。

③委員会では、必要性や実現可能性、費用の面など検討してきました。リニア中央新幹線開通を見据え、点ではなく面的な捉え方により、まちづくり計画の中で地域活力の拠点としての複合的な施設を軸に考えています。

(商工観光部長)

中津川市健康づくり推進条例案に対する修正案

・修正理由

条例第4条第1号の本文「禁煙」とあるのは、煙草を吸われる方や製造・販売等されている方々に配慮を欠く文言であり、健康づくり推進の規範となる条例文として適切ではないと考えます。

・修正案

第4条 市民は、自らの健康の保持・増進を図るため、次に掲げる事項に努めるものとします。

(1) バランスの良い食事の摂取、日常的な運動の実施、充分な睡眠及び休養、「節度ある喫煙」、適正な飲酒等生活習慣病予防に取り組むこと。



議会・委員会 「生中継」しています

インターネットで、議会本会議の映像を「生中継」しています。

昨年12月12日より、常任委員会・特別委員会の「生中継」も始めています。

スマートフォンやタブレット端末などからも視聴できますので、ぜひご覧ください。



☆視聴方法☆

○中津川市ホームページ内の中津川市議会(<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/council/>)の映像配信をクリックしてください。

※配信される映像及び音声は、中津川市議会の公式記録ではありません。(後日、公開する会議録をご参照ください。)

議会活動報告

10月8日から12月24日までの間に市議会本会議を含む36回の会議が開催されました。()は開催回数です。

本会議(5)

総務企画委員会(2)

文教民生委員会(2)

産業建設委員会(2)

予算決算委員会(2)

議会運営委員会(3)

リニア中央新幹線対策特別委員会(1)

議会改革特別委員会(協議会研修会含む)(6)

新衛生センター及び

汚泥処理対策特別委員会(1)

議員全員協議会(1)

市民と議会の対話集会(9)

神坂PAスマートIC設置議員連盟(2)

平成27年3月 定例市議会の日程

26日 木 10時	20日 金 10時	19日 木 10時	18日 水 10時	17日 火 10時	16日 月 10時	13日 金 10時	10日 火 10時	3月9日 月 10時	2月26日 木 10時
本会議(最終日)	予算決算委員会	予算決算委員会	予算決算委員会	文教民生委員会	総務企画委員会	産業建設委員会	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(初日)

○正月は「日のはじめ」であり「月のはじめ」、「年のはじめ」です。つまり「年・月・日の三つの元(はじめ)」であり、古来「元三」とも呼びならわされてきました。しかも新春「春のはじめ」です。幾重にも「はじめ」の意義が込められた喜ばしさひとしおの日であります。

○輝かしき新年を迎える市民の皆様のご多幸、ご健勝並びに希望あふれる一年でありますよう、心から、お祈り申し上げる次第であります。

○議会だよりもまだ至らない所が多くあるから、多くのご意見をお待ち申し上げます。

○編集委員一同、紙面づくりに邁進して参る所存であります。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。